

下高井戸調節池工事及び搬出入路設置工事 説明会

〔議事要旨〕

1. 開催概要

日 時 : 平成30年 3月 18日(日) 午後2時00分~午後4時50分

場 所 : 下高井戸おおぞら公園 パークステーションI 2階

2. 説明会について(冒頭挨拶)

平成29年8月の工事説明会にて下高井戸調節池の搬出入路ルートについて様々な反対意見・ご提案を頂き、これまで検討を進めてきた。

本日は、搬出入路のルート・構造を見直した結果について説明を行うとともに、搬出入路工事及び調節池本体工事について説明する。

本説明会后、準備期間を経て工事を開始していく。

3. 説明内容

- 1) 下高井戸調節池事業の概要
- 2) 工事用搬出入路の見直しについて
- 3) 下高井戸調節池工事に伴う搬出入路設置工事について
- 4) 下高井戸調節池工事について
- 5) 工事に伴う家屋調査について

4. 主なご質問内容と都の回答(要旨)

(調節池の必要性について)

質問1 環状七号線地下調節池が完成してからは、大雨の際もこの地域への災害の影響は無いように思える。下高井戸調節池の意義を教えてください。

回答1 調節池は川の下流側へ効果を発揮するもので、当地域は環状七号線地下調節池より上流側に位置しているため、直接的な効果は期待できない。
この地域を水害から守るためには環状七号線地下調節池の上流側に新たな調節池が必要である。

質問2 下高井戸調節池の容積は3万m³であり、環状七号線地下調節池の容積54万m³と比べると小規模であり、建設する意味はないのではないかと。

回答2 神田川の神泉橋から永福橋の区間を水害から守るのに必要な容量であり、過不足はない。調節池は大きければよいというわけではなく、適所に適切な容量のものが必要である。

質問3 近隣に住んでいるが、雨天時の神田川は、水位がぎりぎりの状態で1時間以上流れていることがある。1時間で調節池が満水になってしまうのであれば、その後流れてく

る水は取水できないことになる。非常時に調節池は役に立たないのではないか。

回答3 計画上の降雨に対して、水理模型実験を行い、計画に基づく必要な河川の流量を適切な時間、取水できるよう調節池の構造を決定している。

(中央ろう学校の桜について)

質問4 近隣住民は中央ろう学校の桜が咲くのを楽しみにしている。工事後どのように復旧するのか。桜を伐採しないで工事ができないか検討し直してほしい。

回答4 近隣の方々の住環境を守るために、栈橋をできる限り右岸側に寄せる構造とし、桜の剪定が必要となる。工事により支障となる枝は剪定するが、工事中も桜の状態の経過を見ながら樹木医とも相談し、必要に応じて植え替えるなど対応していく。

質問5 護岸掘削により、桜の根を切ることになる。桜が傷むことはないのか。

回答5 桜の根は神田川と反対方向の中央ろう学校側に多く張り出していると考えている。樹木の専門家にも相談し、根を切った箇所には適切な防腐処理等を行う。

質問6 桜を植え替えたとして、現在の大きさまで生育するのにどの程度かかるのか。

回答6 植え替える場合、なるべく大きく生育した状態の桜を植える予定である。一般的にはソメイヨシノは成長速度が早く、5年ほどすれば見栄えがするようになる。

(工事について)

質問7 荒玉水道道路は、杉並区施工の下高井戸おおぞら公園の造成時には工事用道路として警察や水道局も許可し、使用された実績があるのに今回使用しないのはなぜか。今回の工事でも工事道路として利用すれば、工期を短縮できるのではないか。公園復旧のときだけでも使用できないか。

回答7 下高井戸おおぞら公園造成当時は、荒玉水道道路を通行する他にルートがなかった。今回工事は杉並区の公園工事に比べて期間が長く、車両台数も多く、事業の規模が格段に違う。荒玉水道道路は幅員が狭く、安全を確保できないことから、今回、工事専用の栈橋を造り、永福通りからの安全なルートを確保した。公園復旧は、杉並区の事業となるため、区と調整していく。

質問8 工事用道路となる永福通りも通学路として利用されている。危険ではないのか。小学校とは通学路の変更を含め、打ち合わせを行っているか。

回答8 永福通りも通学路として利用されているのは把握しており、各学校と打ち合わせ、調整を行っており、協力をお願いしている。その中で学校からも荒玉水道道路は狭く使用しないでほしいとの意見も出ている。車両通行は登校時間を避け、交通誘導員を適切に配置し、注意喚起を図りながら安全対策に努めていく。

質問 9 搬入路設置工事において杭の打設本数が半分になったということだが、杭の本数が減ったことによる悪影響はないのか。

回答 9 安全性については問題ない。当初、3 mピッチで杭を打設する計画であったが、6 mピッチで杭を打設できる機械を施工会社で確保できたことから変更となった。

質問 1 0 仮栈橋の高さを川の中まで下げれば桜を剪定しなくても済むのではないか？

回答 1 0 河川内に仮栈橋を造ると河川断面が小さくなり、流せる水の量が減るため、災害リスクが大きくなる。また、通行する車両自体の安全にも問題がある。

質問 1 1 計画では工期が約 10 年である。同程度の規模の善福寺川調節池の工期は約 5 年だった。これまでも工期の短縮を求めているが、今回の説明でも工程が短縮されていない。

回答 1 1 下高井戸調節池は平成 36 年度末取水開始予定であり、実質工期は約 6 年半である。調節池工事後の公園整備事業、仮栈橋撤去を含めると約 8 年半となる。善福寺川調節池工事の工期は約 5 年であったが、搬入路の道幅が異なるなど、各工事毎に施工のしやすさが異なるため、規模が同じであっても工期が同じとならない。

質問 1 2 下高井戸調節池の建設場所を荒玉水道道路に隣接する下高井戸運動場に変更できないのか。その場合、荒玉水道道路から直接工事車両が進入できるため、安全かつ工事費の低減、工期短縮が図れるのではないか。

回答 1 2 下高井戸運動場は現在運用中のため、工事を行った場合、利用者に対する影響が大きい。一方で現在の建設予定地は公園整備前の用地であるため工事による影響が小さい。また、この場合、道幅が狭い荒玉水道道路に工事用の車両が集中することとなり、安全に車両を通すことが困難であり、採用できない。

質問 1 3 井の頭通り側からも永福通りへ工事車両が通行するのか。

永福通り北側にはガードレールがない。危険ではないのか。

回答 1 3 ダンプトラックなどほとんどの車は甲州街道から進入する。一部の重量制限により甲州街道から進入できないクレーンやトレーラー等の車両は井の頭通りから進入することになる。その際は搬入時間を交通量の少ない時間帯に調整し安全を確保する。

質問 1 4 中央ろう学校西側の道路及びかな橋は通学路として利用されているが、通行止め期間はどの程度か。

回答 1 4 中央ろう学校西側の道路は搬出入路設置工事の進捗に合わせて通行止めになる予定である。以降は工事計画地西側の仮設通路を迂回していただきたい。かな橋については、平成 35 年 8 月以降撤去の予定だが、上流に仮橋を設けて通行していただく予定である。